

議第163号2025年度補正予算について、問題点について意見を述べ
反対討論を行います。

まず、今回の補正予算では、住民の願いに応える提案もありました。私ども
が長年にわたり繰り返し求めてきた学校給食調理場へのエアコン設置が予算
化されたことです。職員への冷却ベストの支給に始まり、前室へのエアコン設
置、スポットクーラーの設置などがひとつひとつ実現してきました。そういう
中で、この度、債務負担行為も含めて2億5,400万円が予算化され、今年
の夏休みを皮切りに条件のあるところから順次整備されていきます。災害級
の猛暑が続く中、とりわけ耐え難い暑さの中で業務にあたる職員の方々の安
全面からも、求められていた事業です。さらに、避難所ともなる体育館へのエ
アコン設置についても速やかにすすめられるよう、改めて強く要望しておき
ます。

この給食調理場へのエアコン設置をはじめ、災害復旧や介護人材確保着
促進事業、障がい児支援事業所等へのICT導入支援などについても、賛成で
す。

しかしながら、市政の大事業である新庁舎整備において、移転先である桜町
NTT跡地の地質調査費用が補正額2550万円、前倒しで計上されている
点は認められません。今年度から、NTT桜町においては、すでに第1期地質
調査が行われています。

そもそも、移転先用地である桜町NTT跡地は、用地買収が行われていませ
ん。用地取得契約が行われていない、いわば他人の土地に、あたかも市の土地
でもあるかのように、基本構想を策定し、基本計画から実施設計までの契約を
して、土地の調査をするというのは、本来の手続きを踏んでいません。現在約
70億円と報告されている桜町NTT跡地は、取得する予算も、取得議案も議
会にはまだ上程されていません。このように議会の意思を飛び越えて、建設先
にありきで進んでいることは到底容認できるものではありません。9月8日
の庁舎整備特別委員会で、NTTとは覚書を交わしているとの答弁がありま

したが、締めくくり質疑のやり取りでわかりましたように、守秘義務を設けて議会にすら見せないものとなっています。もちろん、買収費用の70億円も確定したものではありませんので、いくらわからない用地買収を議会としても認めるわけにはいきません。桜町NTT跡地の用地取得の是非の判断はこれからです。ところが、買収することが約束されて、地質調査をやっているのですから、私ども議会としては、「そうですか」とは言えません。

1000億円にもなろうかという大事業の新庁舎整備を優先して進めているために、他の予算が本当に窮屈になっています。予算決算委員会でお尋ねした災害援護資金貸付については、今回の大雨災害での貸付予算額が4400万円ですが、ほとんどの人が保証人なしで借りたとしても、市の歳入に入る利子は300万円にもなりません。しかも、被災者から利息を取って、制度の運用費用に充てるようなケチなやり方です。被災者には冷たいやり方の一方で、新庁舎建設は1000億円かかってやる勢いですから、一体どうなっているのかと思わずにはいられません。しかも、NTTとの覚書は秘密です。説明責任どころか、秘密にすめられていく新庁舎建設は、市民の目にどのような映るでしょうか。公正で民主的であるべき市政が、市民への情報公開・説明責任に背を向けた新庁舎整備によって歪められているのではないのでしょうか。それを推進することになる今回の地盤調査の前倒し補正は重大な問題点を含んでいるので賛成できません。

また、熊本地震10年関連予算として、基本理念まで大々的に掲げて、政策局・文化市民局・経済観光局・農水局の4つの局で債務負担行為分も含め総額1億7880万円が予算として提案されています。未曾有の犠牲と被害が発生した熊本地震の記憶を将来に継承していくことはたいへん重要なことだと考えます。しかし、その記憶や経験は、今起こっている、今後起こるかもしれない災害の復旧・復興に生かされるものでなくてはなりません。熊本地震の時にはなかった支援が今実現しているものが種々あります。罹災証明の被害認定で「準半壊」が設けられたことや、被災者生活再建支援金も改定されています。地震の教訓が、その後の支援に生かされてこそ、記録し、記憶する意味があります。今議会には、8月に発生した豪雨災害の復旧支援が提案されています。もちろん限られた時間の中で議論されて提案されたものだと承知して

います。しかし、災害援護資金貸付のように、被災者の立場にたつならば、当然制度をよりよく見直す、制度を補うような支援を実施することが求められるものもあります。この制度に限らず、今後は一部損壊も含めて何らかの支援が行われていくような災害支援の拡充を検討していくべきであろうと思います。そうしてこそ、今回提案されている熊本地震10年記念事業の数々も生きてくるのではないかと思います。

ゼネコンしか儲からない大型ハコモノ・開発事業を優先するよりも、災害支援のさらなる拡充に意を用いていただくようお願いして、討論といたします。